

令和2年度 第1回 大井川水系流域委員会 【大井川水系河川整備計画の点検】

令和3年2月16日

国土交通省 中部地方整備局
静岡河川事務所

目次

1. 本会議の位置づけ	2
2. 前回のご指摘と対応	4
3. 事業の進捗状況	10
4. 事業の見通し	22
5. 今後の進め方	28

1. 本会議の位置づけ

河川整備計画の点検イメージ

- 原則として、河川整備計画の点検（レビュー）は毎年開催。
- 再評価を受ける5年に一回の年は、全項目を点検報告。**(A)**
- そのほかの年（4回）は、現場視察と事業の進捗状況、トピックス等を報告。**(B)**

直轄河川改修事業

総合水系環境整備事業

平成30年度 :

(A)

(B)

※初年度のため、全項目を点検（費用対効果分析を除く）

令和元年度 :

(B)

(B)

本年度 :

(B)

(B)

令和3年度 :

(B)

(A)

令和4年度 :

(A)

(B)

令和5年度 :

(B)

(B)

- 流域の社会情勢の変化 **(A)**
 - 土地利用の変化
 - 人口・資産の変化
 - 近年の災害発生状況等
- 地域の意向
 - 地域の要望事項等

(B)

- 事業の進捗状況
 - 事業完了箇所
 - 事業中箇所の進捗状況等
- 事業進捗の見通し
 - 当面の段階的整備の予定等

- 河川整備に関する新たな視点
 - 水防災意識社会再構築ビジョン
 - 地震・津波対策等
- 点検結果
 - 点検結果まとめ
 - 今後の進め方

2. 前回のご指摘と対応

(1) 前回までの委員会における主な指摘事項とその対応

No.	分類	意見内容	対応
2	環境	<p>・大井川では魚が減少しているというご意見に対して、色々な影響が絡まっていると思われるので実態を把握して、要因を分析し、対策に繋がられるようにして頂きたい。</p>	本資料p.6参照
3	治水	<p>・平成30年や台風19号において長島ダムへの影響は小さかったという話であるが、ぜひシミュレーションされて、もし井川ダムが満水だったら長島ダムではこうなっていたはずだ、下流にはこのぐらいの水位になっていたはずだと示して欲しい。防災的な立場で言うと、700mm降って大丈夫であったので、今回も大丈夫だろうという正常性バイアスの冗長が懸念されるのでこうなっていた可能性があるということを示して欲しい。</p>	本資料p.7～9参照

(2) 指摘に対する対応状況

指摘内容②

- 大井川では魚が減少しているというご意見に対して、色々な影響が絡まっていると思われるので実態を把握して、要因を分析し、対策に繋げられるようにして頂きたい。

対応状況①

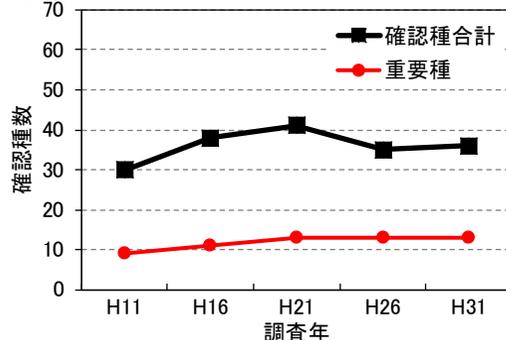
河川水辺の国勢調査の概要

- 河川の管理に、生物の生息・生育環境を重視する観点から、河川の自然環境に関する基礎的情報を把握し、河川の生物の生息・生育状況に係るデータについて、定期的・継続的・統一的に調査を行う「河川水辺の国勢調査」を実施している(調査項目を下表に示す)。
- 大井川水系における直近の魚類・底生動物調査は、平成31年度に実施している。
- 静岡河川事務所管理区間(河口~24.8km)では、魚類の各年の確認種数合計は30~40種程度、重要種は10種程度で推移しており、経年的には大きな変化はみられない。

表 大井川水系 調査年スケジュール計画

水系名	河川名・ダム名	管理する事務所等	管理区間(km)	調査年スケジュール										
				5巡目										
				H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
大井川水系	大井川	静岡河川事務所	-0.4~24.0km	両生類・爬虫類・哺乳類	鳥類	河川環境基図作成・植物	魚類・底生動物		陸上昆虫類等		河川環境環境基図作成	魚類・底生動物	全体調査計画の策定	

<魚類>



※重要種の選定基準

- 「文化財保護法」(法律第214号, 昭和25年)に基づく天然記念物及び特別天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(法律第75号, 平成4年)に定められた国内希少野生動植物種
- 「環境省レッドリスト2019」(2019年、環境省)の掲載種
- 「静岡県レッドリスト2019」(2019, 静岡県)の掲載種

図 大井川(静岡河川事務所管理区間)における魚類の確認種数の変化

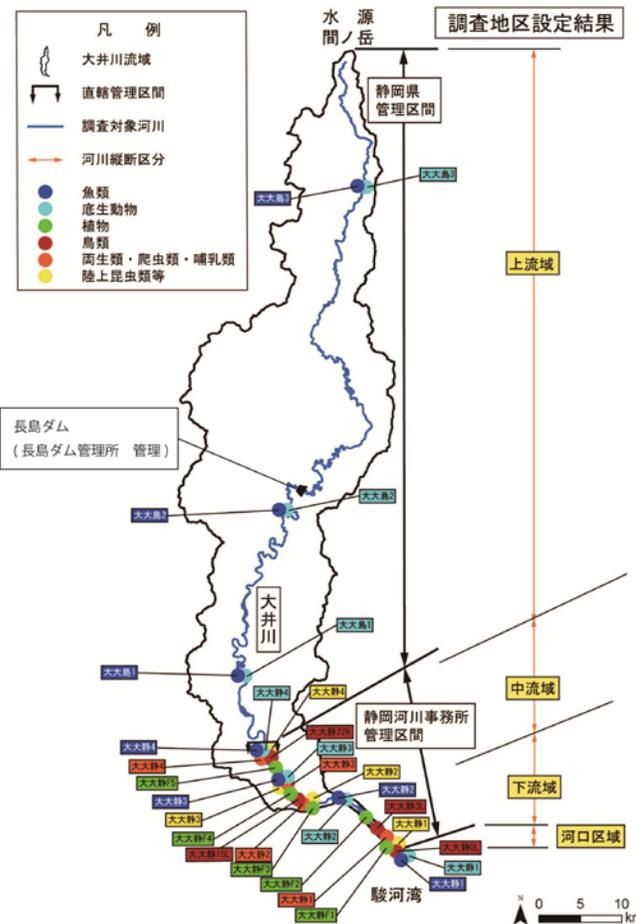


図 大井川水系 調査地区位置図

(2) 指摘に対する対応状況

指摘内容③

- 平成30年や台風19号において長島ダムへの影響は小さかったという話であるが、ぜひシミュレーションされて、もし井川ダムが満水だったら長島ダムではこうなっていたはずだ、下流にはこのぐらいの水位になっていたはずだと示して欲しい。防災的な立場で言うと、700mm降って大丈夫であったので、今回も大丈夫だろうという正常性バイアスの冗長が懸念されるのでこうなっていた可能性があるということを示して欲しい。

対応状況③

台風19号の影響を想定した検討内容

- 仮に、狩野川流域・天城雨量観測所の総雨量768mm同程度の降雨が長島ダム上流に来襲したとすると、長島ダム最大流入量は約7,600m³/sに達すると予想。
- 現行暫定操作で対象としている雨量規模(年超過率1/40)を大きく上回る約1/130~1/140規模の降雨となり、流入ピーク前に異常洪水時防災操作に移行した可能性がある。

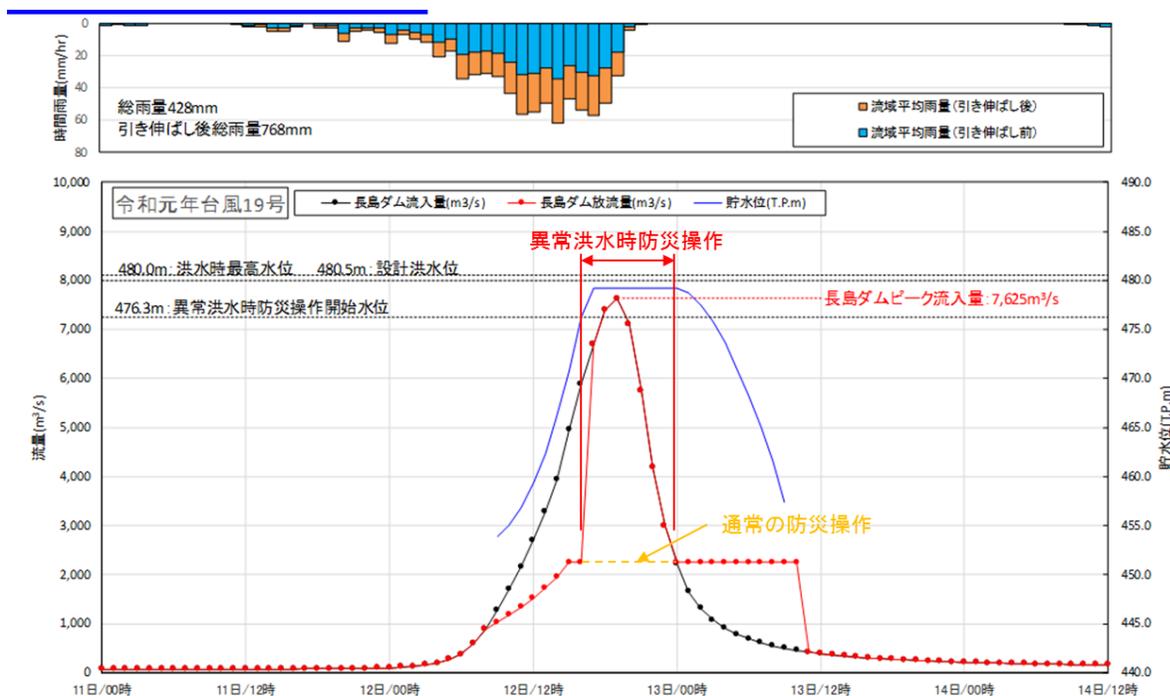


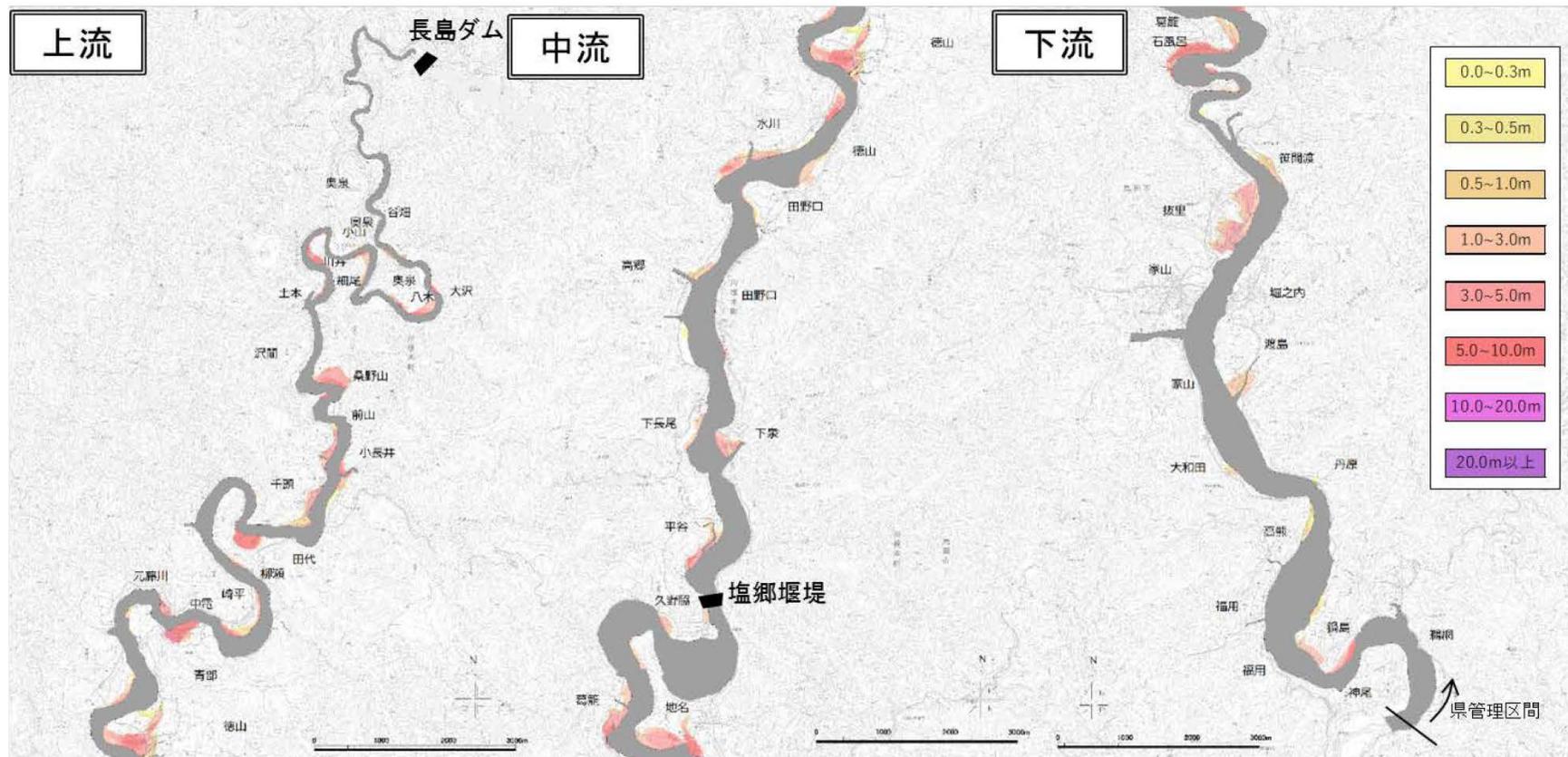
図 長島ダムの雨量・流量・貯水位(台風19号が長島ダム上流に直撃していた場合)

(2) 指摘に対する対応状況

対応状況③

台風19号の影響を想定した検討内容

- ・ 狩野川流域・天城雨量観測所の総雨量768mm同程度の降雨が、長島ダム上流に來襲した場合、下流の県管理区間の多くの箇所では浸水被害が想定される。



- 県管理区間では、沿川各所で最大5m程度の浸水被害が発生
- 家屋の床上浸水、国道362号線や大井川鉄道が被災し交通途絶による集落の孤立化が発生したと想定

図 県管理区間の浸水被害(台風19号が長島ダム上流に直撃していた場合)

(2) 指摘に対する対応状況

対応状況③

台風19号の影響を想定した検討内容

- 大井川下流部である直轄区間においては、上流端で最大流量約 $9,300\text{m}^3/\text{s}$ が想定される。
- これは、大井川水系河川整備計画対象流量である $8,100\text{m}^3/\text{s}$ より大きく、将来目標である「基本方針の計画流量」である $9,500\text{m}^3/\text{s}$ に迫る流量である。

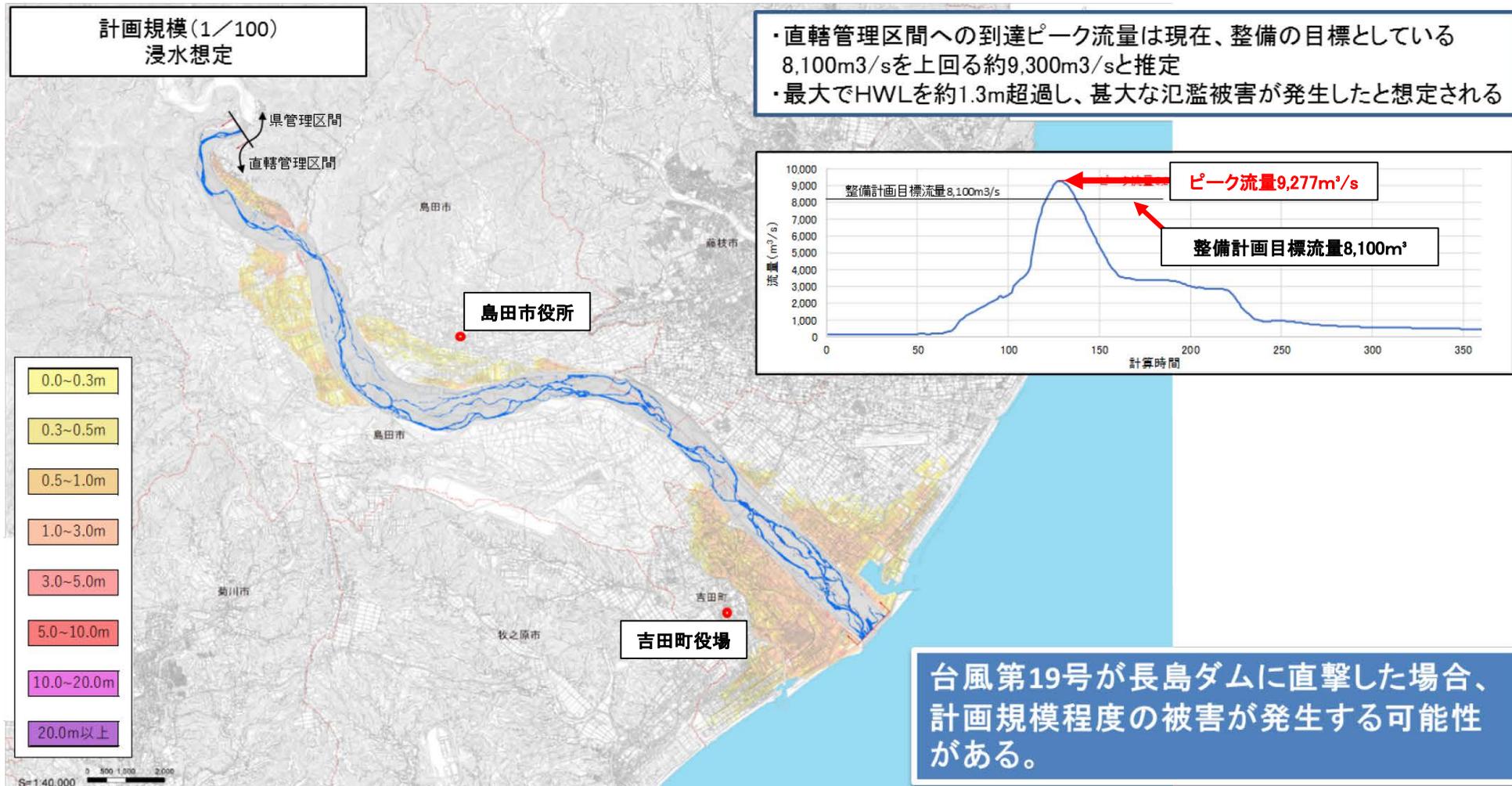


図 直轄区間の浸水被害(台風19号が長島ダム上流に直撃していた場合)

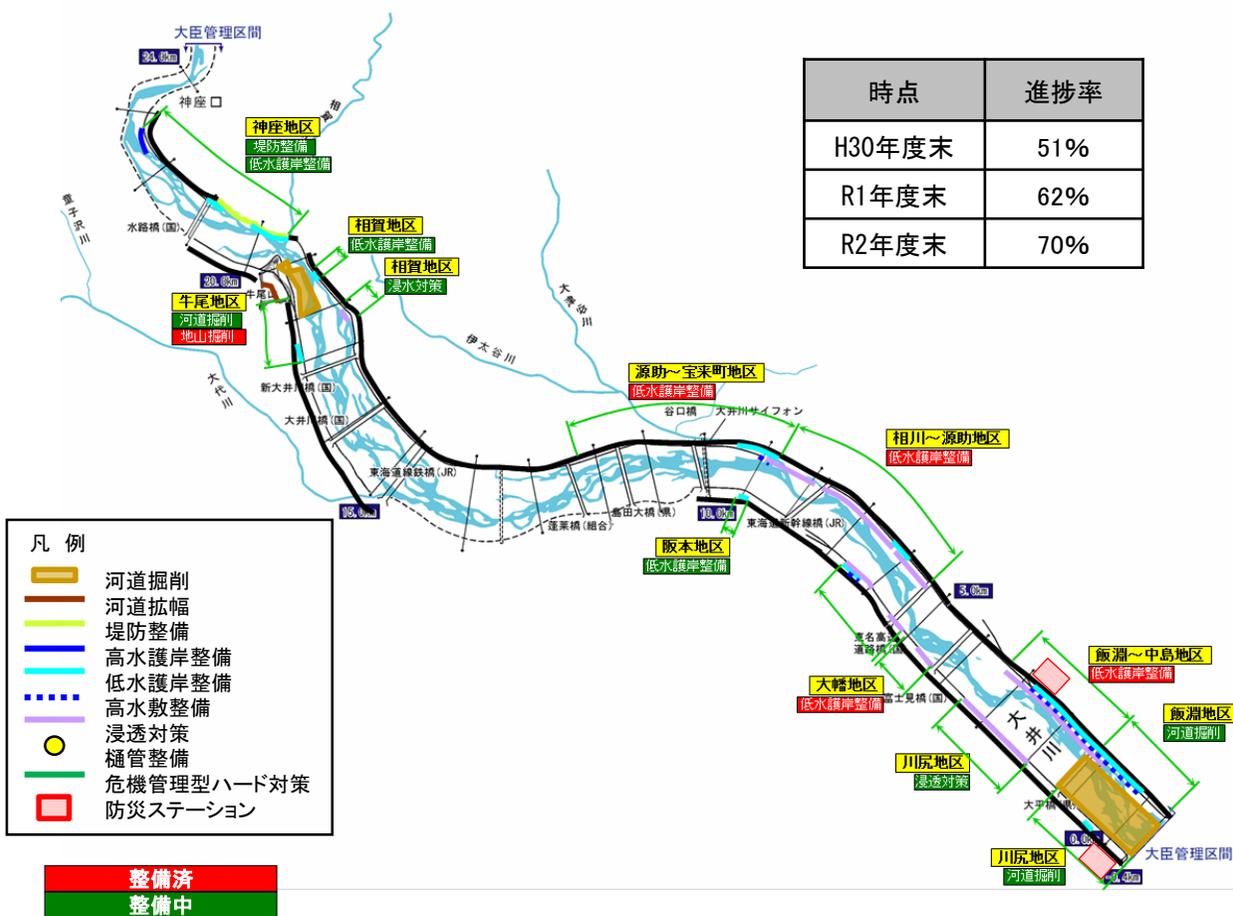
3. 事業の進捗状況

(1) 治水事業の進捗状況

- 大井川では、基準地点の神座で年超過確率1/50に相当する流量（9,500m³/s）を既存の洪水調節施設で洪水調整することにより河道では8,100m³/sを安全に流下させるため、河道拡幅、堤防整備、低水護岸整備を重点的に進めている。
- また、国、静岡県、焼津市、吉田町が一体となった「大井川防災ネットワーク」を形成し、大規模水害時に備える「河川防災ステーション」整備を進めている

洪水対策

- 河川整備計画に基づく事業の進捗率は事業費ベース（令和2年度時点）で約70%となっている。



低水護岸整備(神座地区)大井川 20k付近 左岸



低水護岸整備(神座地区)大井川 22k付近 左岸

(1) 治水事業の進捗状況

堤防整備

- 令和元年度末時点(令和2年3月時点)では、堤防必要区間38.6kmに対して、計画断面堤防区間が約95%、暫定断面堤防が約5%となっている。
- 平成23年の河川整備計画策定時から計画断面堤防は約2%増加しているものの、堤防の高さや幅が不足している区間が約5%残されていることから、今後も引き続き事業を推進し、洪水に対する安全性を確保する。

表 堤防の整備状況(令和元年度末時点)

	堤防必要 区間延長 (km)	計画断面堤防区間		暫定断面堤防区間	
		延長 (km)	率 (%)	延長 (km)	率 (%)
策定時	38.6	35.8	92.7	2.8	7.3
現況		36.6	94.8	2.0	5.2



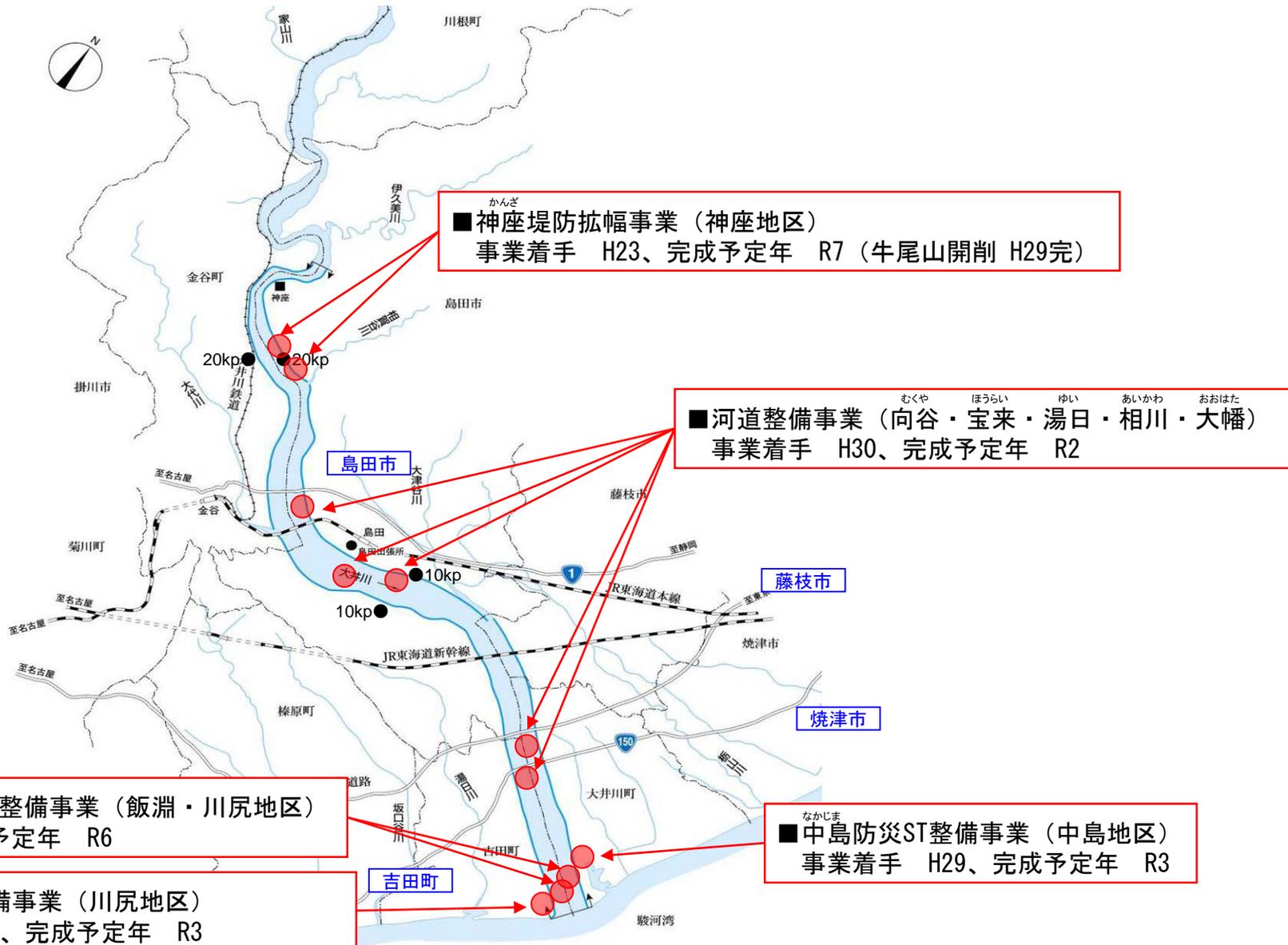
写真 低水護岸整備後
(大井川右岸6.2k付近中河地区)



写真 低水護岸整備後
(大井川右岸6.6k付近中河地区)

(3) 事業中箇所の詳細状況(治水事業箇所図)

- 河道掘削、樹木伐開、洗掘対策を推進。
- 特に、背後地に島田市街地を抱える大井川神座地区の堤防整備・河道掘削を強力に推進。



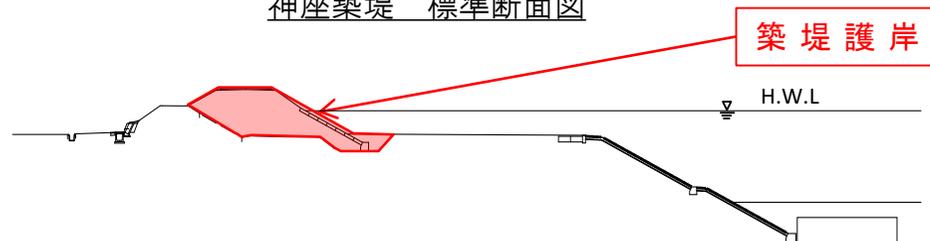
(4) 事業の進捗状況(堤防強化(堤防整備))

堤防強化(堤防整備)

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環として、緊急的に流下能力対策を実施し早期に地域の安全性の向上を図っている。
- 神座地区においては、洪水を安全に流下させるために堤防整備を実施する。



神座築堤 標準断面図



(4) 事業の進捗状況 (水位低下対策(樹木伐開))

水位低下対策 (樹木伐開)

緊急3ヶ年年対象工事

- 平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、堤防決壊時の危険性に関する緊急対策として、緊急的に人命を守る対策等を実施している。
- 向谷地区においては、洪水を安全に流下させるために樹木伐開を実施する。



樹木伐開 実施状況

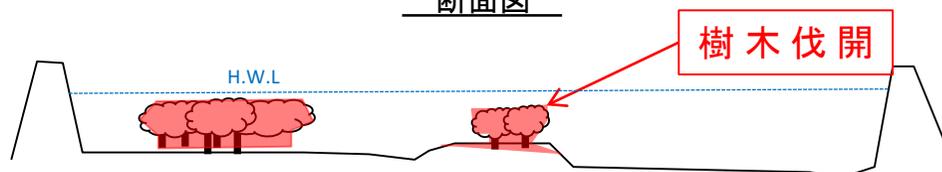


R2.10月撮影



R3.2月撮影

断面図



(4) 事業の進捗状況(水位低下対策(樹木伐開))

水位低下対策(樹木伐開)

緊急3ヶ年年対象工事

- 平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、堤防決壊時の危険性に関する緊急対策として、緊急的に人命を守る対策等を実施している。
- 湯日地区・宝来地区においては、洪水を安全に流下させるために樹木伐開を実施する。



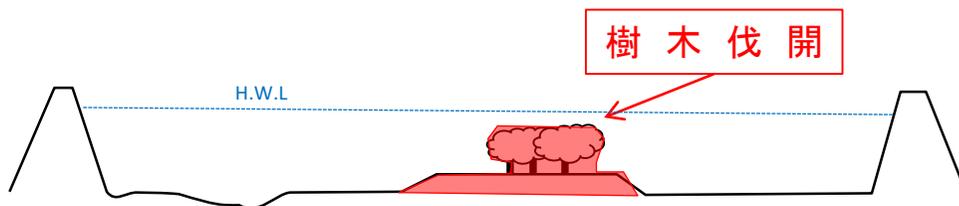
樹木伐開 実施状況



R2.10月撮影



R3.2月撮影



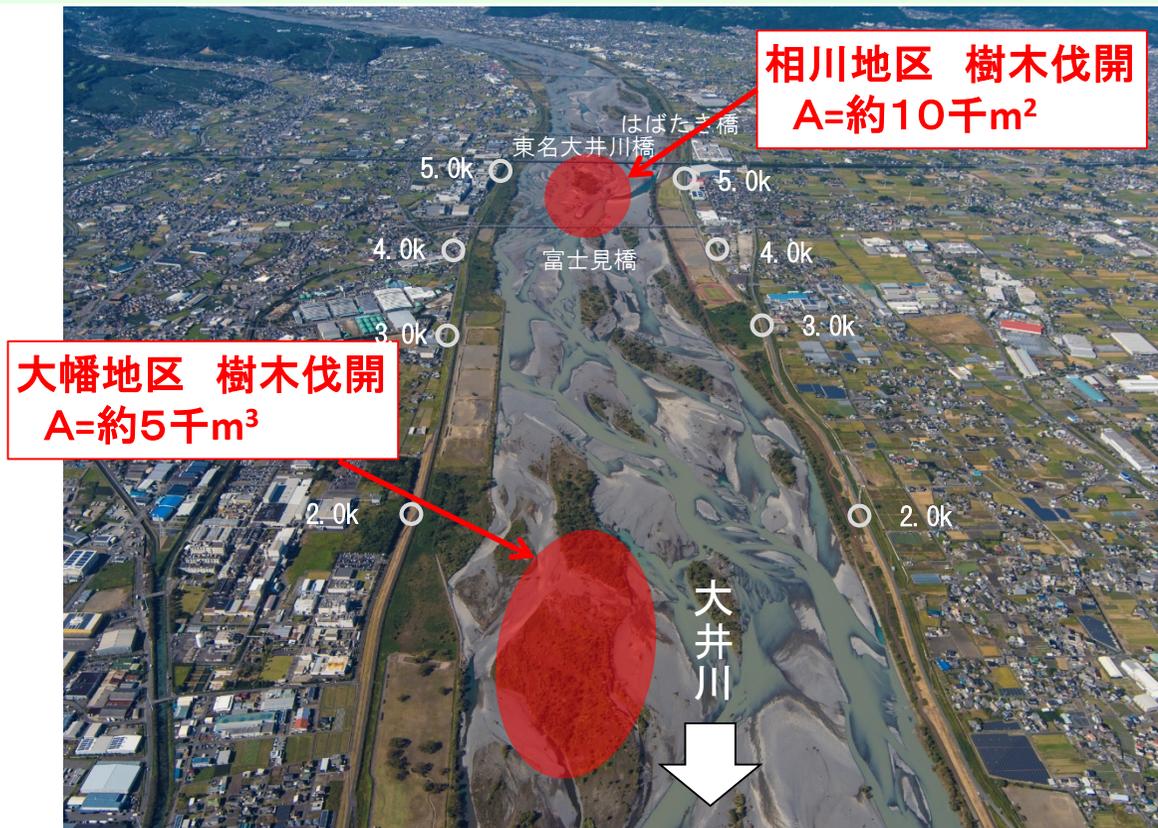
(4) 事業の進捗状況(水位低下対策(樹木伐開))

水位低下対策(樹木伐開)

緊急3ヶ年年対象工事

- 平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、堤防決壊時の危険性に関する緊急対策として、緊急的に人命を守る対策等を実施している。
- 相川地区・大幡地区においては、洪水を安全に流下させるために樹木伐開を実施する。

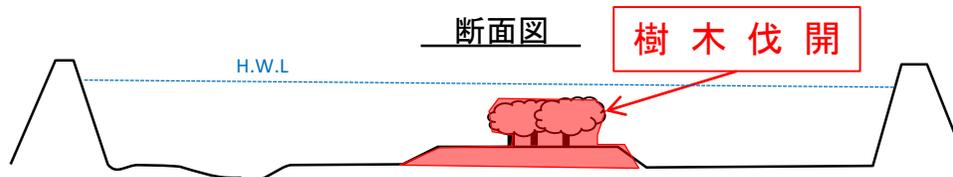
樹木伐開 実施状況



R2.10月撮影



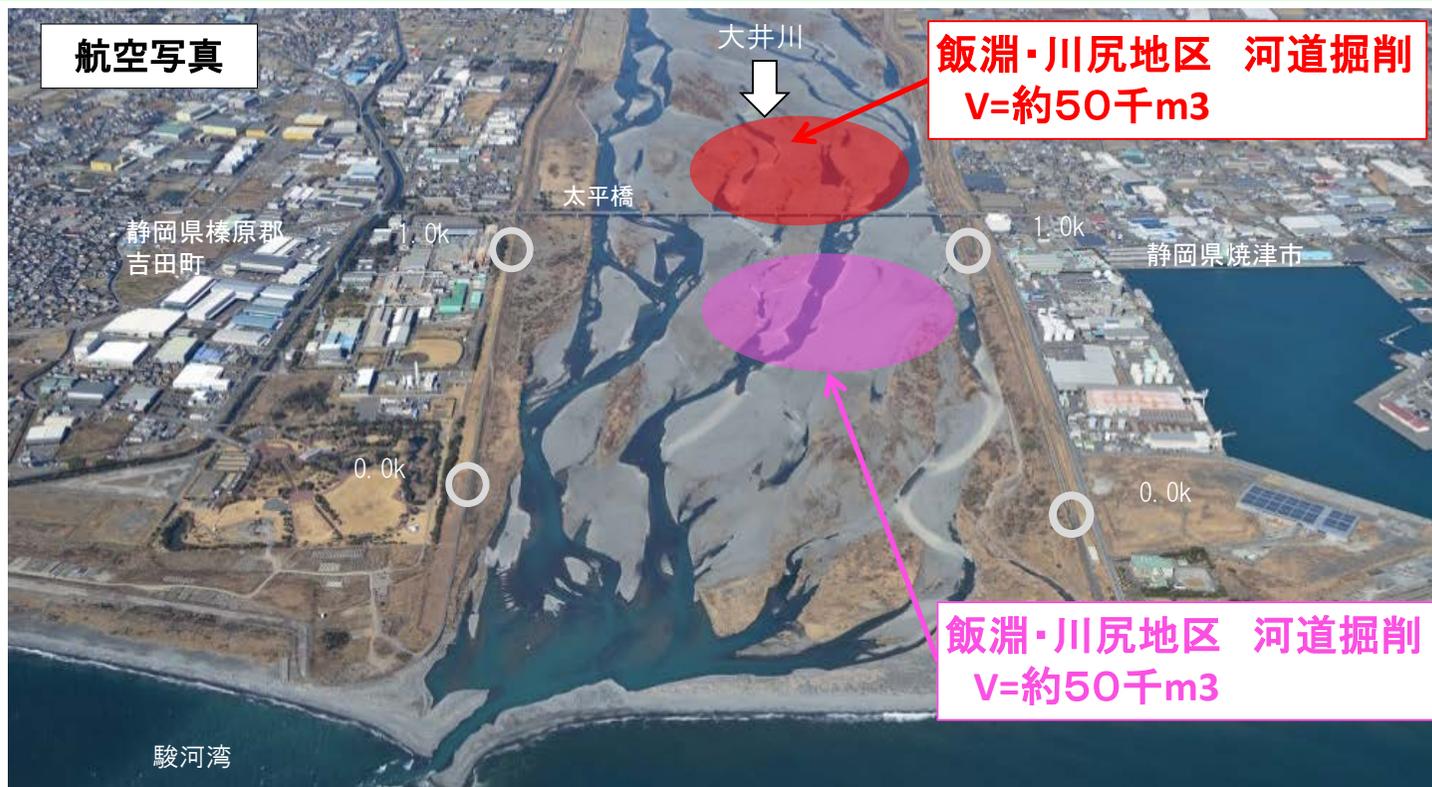
R3.2月撮影



(4) 事業の進捗状況(水位低下対策(河道掘削))

水位低下対策(河道掘削)

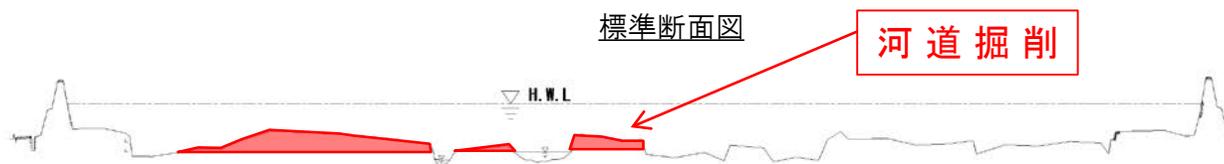
- 平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、堤防決壊時の危険性に関する緊急対策として、緊急的に人命を守る対策等を実施している。
- 飯淵・川尻においては、洪水を安全に流下させるために河道掘削を実施する。



希少種(ミズハゼ類)への配慮

ミズハゼ類は、石や砂利、砂粒の間などにひそんでいる。このため、平常時における濁水に起因するシルトなどの堆積による生態への影響が大きい。そのため以下の対策を実施している。

- 掘削の際は流水への作業を極力おさえ、濁水の発生を抑える
- 施工中は、濁度とpHについて現場管理値を設定し管理する
- 工事用道路は最小限にとどめ、踏み固められた箇所は施工完了後に解す
- 濠筋を渡る場合は、仮橋等で渡河し、濁水の発生を抑制する 等



(4) 事業の進捗状況(危機管理対策(防災関連施設の整備))

危機管理対策(防災関連施設の整備)

- 中島・川尻地区河川防災ステーションは、災害時の緊急復旧活動を行う拠点となる施設で、また平常時は、防災学習の場などとして利用する事を予定している。
- 令和3年度の完成を目指し、国土交通省において盛土等の基盤整備をし、市町により水防センターを整備する。

位置図



中島地区
河川防災ステーション

大井川

川尻地区
河川防災ステーション

完成イメージ



焼津市中島地区

水防センター

吉田町川尻地区

水防センター



(4) 事業予定の詳細(堤防整備、階段整備)

堤防整備、階段整備

- 平成29年3月に『大井川総合水系環境整備事業』として事業に着手した。
- 蓬莱橋左岸付近において、「大井川宝来地区かわまちづくり計画」と整合を図りながら、歴史や景観に配慮しつつ蓬莱橋を中心としたまちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間の創出のため、令和3年度までに整備を実施する。

階段工L=15m 低水護岸 L=52m 舗装工等 (R2.3完成)



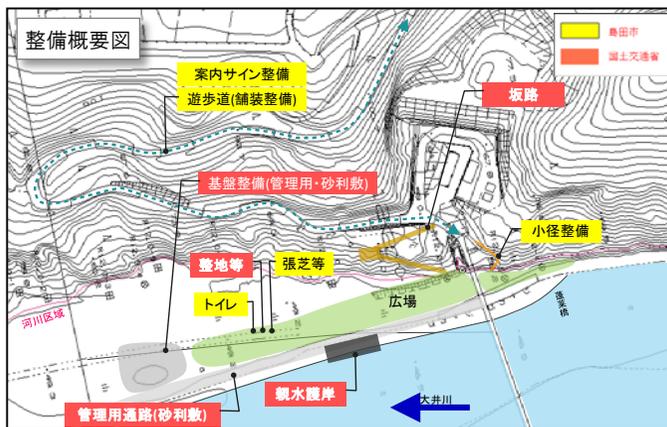
蓬莱橋

整備イメージ

(4) 事業予定の詳細(高水敷整備)

高水敷整備

- 島田市では、大井川を軸とした地域の活性化を目指し、世界一長い木造歩道橋「蓬莱橋」とその周辺の水辺を「観光・交流」「にぎわい」「憩いの場」を創出できる拠点として活用する取り組みを進めています。
- この取り組みを充実させるため、本計画では、蓬莱橋右岸側を対象に、歴史と景観に配慮し、高水敷の広場・トイレ・散策路などを整備するとともに、民間事業者等と連携しオープンカフェやデイキャンプ場を運営し、先行して整備を行っている左岸側と一体となったイベントなどの開催により人々の「ふれあいの場」としての活用を予定しています。
- 河川管理者(国土交通省)では、この取組みに対し、必要となる河川管理用通路等の河川管理施設を令和4年度より整備を予定しているほか、河川敷地占用許可準則22条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を予定していきます。



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

4. 事業の見通し

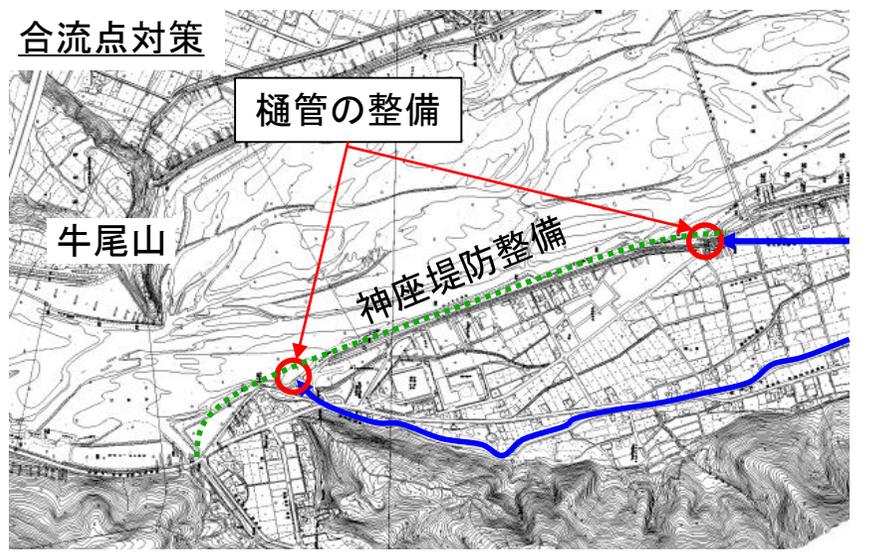
(1) 今後の事業予定(直轄河川改修事業)

- 直近の予定としては、築堤、河道掘削、防災ST事業等を引き続き計画的に実施。
- 今後は神座の堤防整備に合わせ、支川合流点の対策を実施するとともに、全川にわたり侵食対策を実施予定。

整備メニュー	現在実施中	短期	中期	中長期
樹木伐開・河道掘削	■			
大井川神座堤防拡幅事業	■	→	↓	
防災ST事業	■	→		
大井川飯渚・川尻河道掘削事業	■	→	→	→
合流点対策			→	→
侵食対策	■	→	→	→

総合土砂管理計画に基づく河積確保

合流点対策



防災ST事業

吉田町川尻地区



焼津市中島地区



(1) 今後の事業予定(総合水系環境整備事業)

- 直近の予定としては、左岸は、高水敷整正、階段整備を引き続きに実施。
- 今後は「大井川蓬莱橋右岸かわまちづくり計画」を申請しており、登録後にかわまちづくり計画と整合を図りながら、歴史や景観に配慮しつつ蓬莱橋を中心としたまちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間の創出のため、整備を実施する。

	整備メニュー	現在実施中	R3	R4	R5	R6	R7	R8
左岸	高水敷整正	→	→					
	堤防・階段	→	→					
	親水護岸	→						
	モニタリング		→	→	→			
	島田市整備 <small>物販施設、案内板等</small>		→	→				
右岸	かわまち計画申請	→						
	基盤整備 <small>(整地・坂路・親水護岸等)</small>		→	→	→	→	→	→
	島田市整備 <small>(張芝・案内看板等)</small>				→	→		

右岸側整備予定イメージ



左岸側整備イメージ



- 総合土砂管理計画を策定するため、平成29年より大井川流砂系総合土砂管理計画検討委員会（委員長：名古屋大学戸田教授）を立ち上げ検討を実施。
- 令和2年6月には長島ダムより下流を対象とした「大井川流砂系総合土砂管理計画第一版」を策定。
- 今後は、第一版のフォローアップと並行し、上流域を含めた調査・検討を行い、第二版として全域を対象とした全体計画の策定に向けて取り組む予定。

◆大井川流砂系における総合土砂管理計画の検討状況



写真 大井川流砂系総合土砂管理計画検討委員会（第1回）



写真 現地視察

表 大井川流砂系総合土砂管理計画検討委員会 開催概要

委員会	開催日	議事
第1回	H29.2.21	(1) 大井川流砂系総合土砂管理計画検討委員会の規約(案) (2) 大井川流砂系総合土砂管理計画検討の背景 (3) 大井川流砂系総合土砂管理計画の策定に向けた進め方 (4) 各領域における現状把握と土砂問題、課題の整理 (5) 各機関における現状・課題報告 (6) 委員会における論点
第2回	H29.12.20 (H29.10.11現地視察)	(1) 総合土砂管理計画策定までの流れ (2) 流砂系の現状と課題 (3) 流砂系の目指す姿 (4) 土砂動態モデルの構築
第3回	H30.2.28	(1) 土砂動態モデルの構築 (2) 各領域の土砂移動の分析
第4回	H30.9.19	(1) 土砂管理目標の設定に向けた分析 (2) 土砂管理目標等の設定方針
第5回	H31.1.18	(1) 土砂管理目標と土砂管理指標 (2) 土砂管理対策 (3) モニタリング計画 (4) 総合土砂管理計画 骨子(案)
第6回	H31.3.26	(1) 総合土砂管理計画【第一版】(素案) (2) 今後の予定

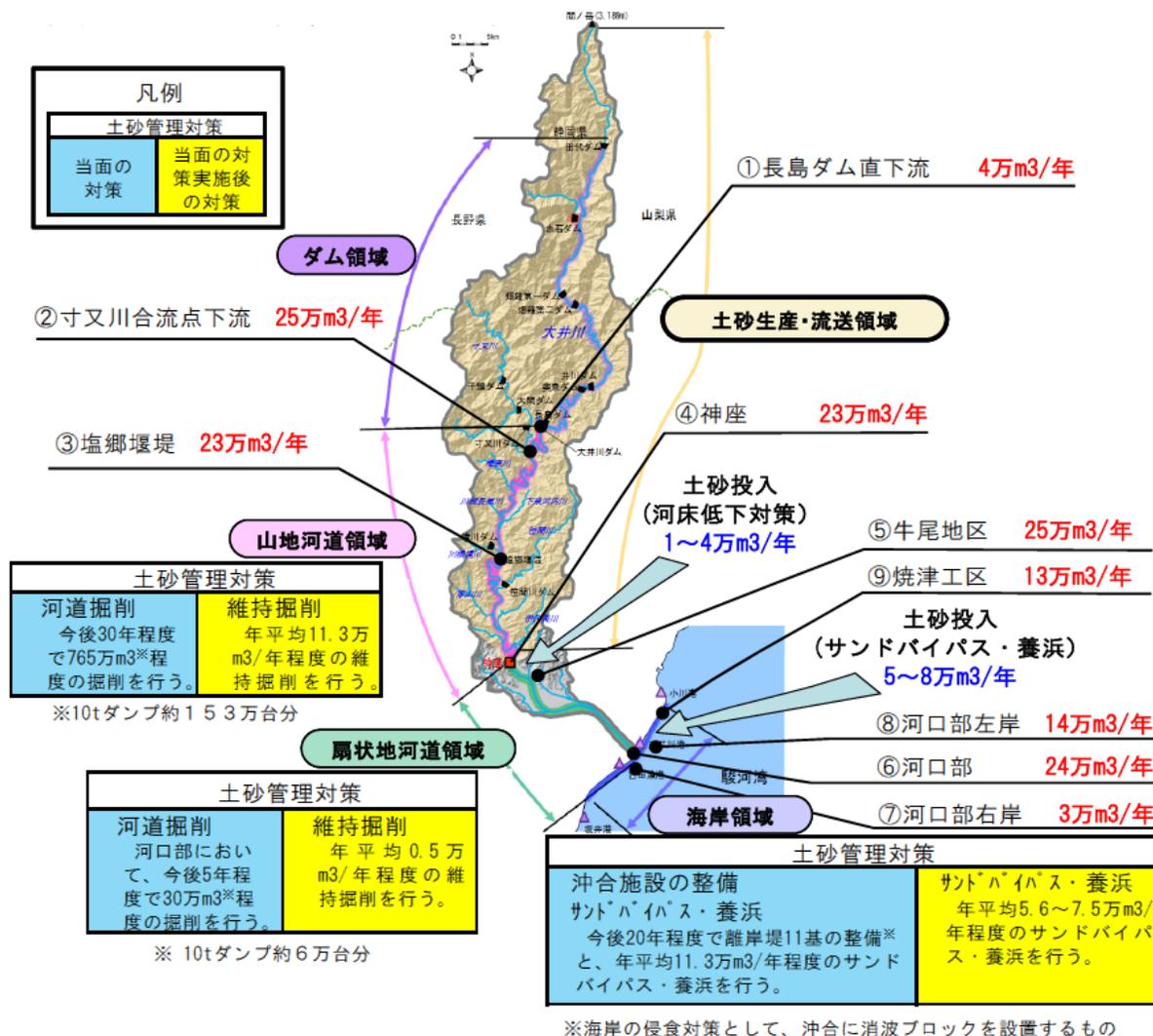
◆大井川流砂系総合土砂管理計画第一版の概要

目指す姿

- ①災害が生じないよう安全な状態を保つため、土砂の掘削や投入を行って対処する。
- ②通過土砂量(川や海を流れる土砂の量)を減らさないよう注意を払い、下流に土砂を受け渡ししていく。
- ③掘削や浚渫した土砂は流砂系(大井川全川と駿河海岸)の中でリサイクルに努める。

目標値と土砂管理対策(アクション)

主要地点(①~⑨)における具体的な土砂管理目標値※と対策(アクション)は右図の通りです。
 (※赤字:通過土砂量、青字:投入土砂量)



5. 今後の進め方

大井川水系流域委員会 今後のスケジュール

- 河川整備計画内容の点検の実施は、毎年審議
- 事業の再評価の審議は、5年以内に1度の審議、事後評価の審議は、完成後5年以内の審議

